

IMFが示した過剰債務問題への対処法 — 各国政府は経済正常化に向けた企業支援策を継続へ —

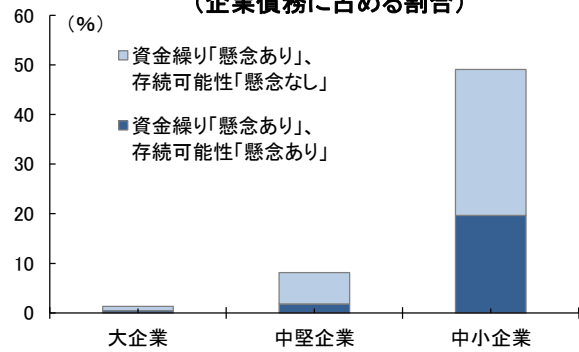
- (1) IMFは、本年4月公表の国際金融安定性報告書において、コロナ危機を受けた世界的な金融緩和・財政拡大の副作用に警鐘。とりわけ、中小企業を中心とする過剰債務の問題を指摘。
- (2) IMFは、①資金繰り、②返済能力、③事業の存続可能性に係る懸念の有無により企業を分類し、必要な支援策を検討する政策決定フローを提案(図表1)。たとえば、資金繰りに懸念のある企業には融資・保証、返済能力に懸念がある企業には資本注入に係る政府支援が重要であり、中長期的には、直接金融市場の整備が必要と指摘。また、存続可能性に懸念がある企業には、再編・清算を促す政策対応も必要。
- (3) 先進国において上記①～③に懸念がある企業の割合をみれば、中小企業の半数近くが資金繰りや返済能力に懸念があり、かつ、2割程度が存続可能性にも懸念あり。また、中堅・大企業においても、2割程度が返済能力に懸念あり(図表2、3)。
- (4) 一部の国では銀行が貸出基準を厳格化し、その要因として経済環境の悪化と、債務者リスクの上昇を挙げるなど(図表4)、経済活動の正常化に向けた継続的な政府支援の必要性を示唆。わが国を含む各国政府は、中小企業の経営実態に合わせた資金繰り支援、資本金の導入などの政策メニューを整備・維持しつつ、中長期的な観点から、直接金融市場や再編・清算に係る制度整備を検討することが重要。

(図表1) IMFが示した政策決定フロー

Step1	Step2	Step3	Step4	Step5
資金繰り/ 返済能力	事業存続 可能性	短期的政策		中長期的 政策
		政府支援	その他 政策支援	
資金繰り 懸念あり	懸念 なし	中小企業 向け 融資・保証	大企業の 借り入れ 後押し	中小企業向け直接金融 市場整備、 中小企業再 編、ディス トレス債市場 育成、企業 再生スキ ーム強化
	懸念 あり	—	再編、清算	
返済能力 懸念あり	懸念 なし	中小企業 への 資本注入	大企業の 資本調達 後押し	—
	懸念 あり	—	再編、清算	

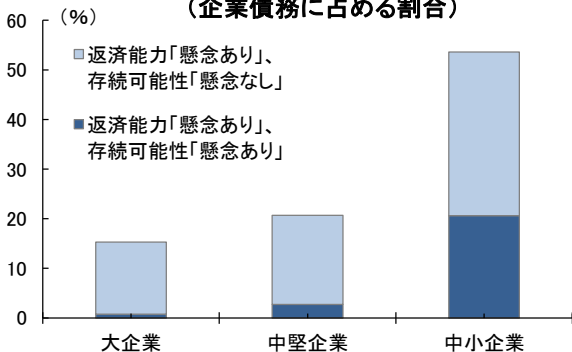
(資料) IMF「Global Financial Stability Report」(2021年4月)

(図表2) 先進国企業の資金繰りと存続可能性の懸念
(企業債務に占める割合)



(資料) IMF「Global Financial Stability Report」(2021年4月)

(図表3) 先進国企業の返済能力と存続可能性の懸念
(企業債務に占める割合)



(資料) IMF「Global Financial Stability Report」(2021年4月)

(図表4) 銀行の貸出基準厳格化の要因
(2020年10~12月期)

	銀行内部要因		外部環境要因	
	資本 余力	資金 調達	経済 見通し	債務者 リスク
米国	重要ではない	重要ではない	重要	重要
英国	重要ではない	重要	重要	重要
ドイツ	重要ではない	重要ではない	重要	重要
フランス	重要ではない	重要	重要	重要
イタリア	重要ではない	重要	重要	重要
スペイン	重要ではない	重要	重要	重要
トルコ	重要ではない	重要	重要	重要
タイ	重要ではない	重要	重要	重要

重要ではない 重要

(資料) IMF「Global Financial Stability Report」(2021年4月)

【ご照会先】調査部 金融リサーチセンター 副主任研究員 大嶋 秀雄(oshima.hideo.j2@jri.co.jp, 090-9109-8910)

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時時点で弊社が一般に信頼出来るとされる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。